『防災の日』　関東大震災（大正 12 年 9 月 1 日）

今日は『防災の日』です。日本は、自然災害の多い地域であり、台風、高潮、津波、地震などについての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するために、昭和 35 年に制定されました。9/1 が「防災の日」になった理由は、大正 12 年 9 月 1 日に発生した関東大震災が挙げられます。この震災により、多くの犠牲者が出ました。また、制定の前年である昭和 35 年 9 月には、伊勢湾台風が襲来し、大きな被害に見舞われたため、この時期が選ばれたとされています。

「防災の日」前後に、学校や地域で、防災訓練を行うところも多いでしょう。個人としては、改めて災害に対しての備えを確認したいものです。自宅に飲み水や食糧の備蓄をしているか、避難場所はどこか、連絡を取り合う手段、交通が麻痺した際の会社から自宅までの徒歩ルートなど、確認しておくことはいつくもあります。「防災の日」を契機に、家や学校の備えを点検しましょう。

災害への 3 つの備え　「物」「行動」「心」

災害への備えを具体的に挙げると 3 つあります。

1 点目は「物」です。道路などの社会インフラが寸断されると、支援物質が届くまで少なくとも 1 週間はかかるとされていますので、その分の買い置きが必要です。

2 点目は「行動」です。災害が起きた際にどのような対処をするか、避難場所はどこかを、家族や学校で、事前に確認することが肝要です。

3 点目は「心」です。地球は絶えず活動しており、今この瞬間に地震が起きてもおかしくないのです。災害への心の備えがあって初めて、いざという時に「直観力」が働き、危機的状況を回避することにつながります。

「天災は忘れた頃にやって来る」ものです。「防災の日」をきっかけに、家や学校の災害への備えを点検しましょう。

❤ Happy Birthday　９／１‥川口　悠星君　９／１‥澤田　夏希さん